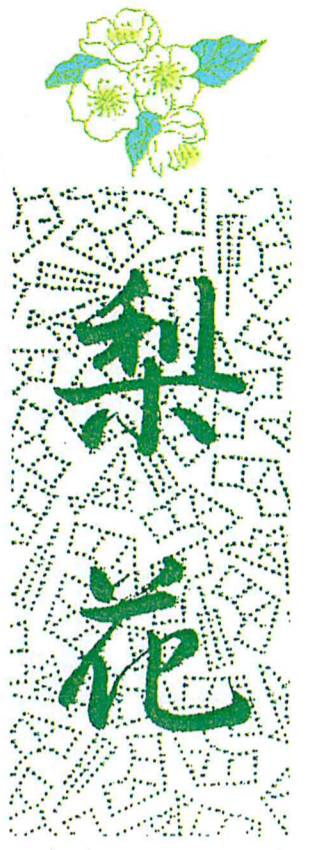




▲左より中山西部総合事務所長、池田さん、天野さん、安田さん、司さん、萬治さん、足立会長

東京鳥取県人会の賀詞交歓会は 1月19日(金)新橋「ももてなし家」で 90余名が参集



題字/故西尾邑次
元名誉会員揮毫

第57号
2018年4月25日発行
東京鳥取県人会事務所
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者/足立盛二郎
編集/県人会広報部会
<http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin>

恒例の東京鳥取県人会の新年賀詞交歓会は、平成30年1月19日(金)正午から、とっとりおみやげ新橋館2階の「ももてなし家」で開催され、90余名が集まり、和やかな歓談風景が展開された。

司会の小川浩史常任幹事の第一声には「はじめ、県民歌「わきあがる力」が来賓の鳥取県西部総合事務所長中山貴雄氏他東京本部の職員らの合唱で元氣よく幕が上った。次に、昨年秋新会長に就任した足立盛二郎氏が挨拶に立ち、昨年は政治も経済も社会全体が何かと落ち着かない様子だったが、戌年の今年はいくまで培ってきたことをよい形で収穫する年であることを強調すると共に、県人会は蟹取県と新たに星取県(県内どの市町村からも天の川が見える)を標榜する県の発展に力を合わせて協力してゆきたいと宣言された。

次に、名誉会員で鳥取藩の16代ご当主である池田百合子さんが壇上に立ち、昨年も日本人のギスギスした心持が本来の寛容の精神が失われつつあることを語ったが、最近も消防団員が公用車で昼食を買いにゆくとは何事かと目くらまら立てる人が居たりして、正義の衣をかぶって人を責め立てるという過剰な反応社会が今日の悪夢の一現象であると述べられた。

次に、県を代表して中山貴雄氏が、大山開山1300年祭が正に5月より11月にかけて盛大な行事が計画されていること、境港も7月には水木しげるロードもリニューアルされて賑わう筈で、今年もメディアでたくさん取り上げられるだろうと希望の観測を述べられた。



新本部長挨拶 吉井美和子

平成27年度から3年間、副本部長として県人会の事務局次長を務めさせていただいておりましたが、このたび、4月1日付で東京本部長に就任しました。平成14年度から5年間、東京事務所勤務していたことがあり、通算では、東京9年目となります。

この間、東京鳥取県人会の皆様には、何かにつけてかわいがっていただき、温かい励ましをいただきました。深く感謝申し上げます。

このたびの就任を機に、思いを新たに、首都圏での鳥取県の情報発信や販路開拓、移住促進などに職員と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、県人会の皆様引き続きのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

随想リレー

高校3年生の時、年末に父が死去、事業は倒産してしまいが、借金の返済のため、家・屋敷・畑・工場も処分して、一家は長兄がいる長崎に移り住みました。その後、先祖代々の墓も全部長崎に移しました。私は6人兄弟の5番目です。

長兄は「トリスパー」とあり、不二家会長の山はり長崎がふるさとです、売にも頑張るって行きたいと思つていいます。お陰とお話になりました。そして、お世話になったふるさと、ガールハットは650店舗、とんかつ濱かつは115店舗、海外に15店舗ほどになった。私も74才になりました。しかし、リンガーハット財団をつくり、少しでも恩返しをしていきたいと思います。



鳥取も長崎もわたしのふるさと
(株)リンガーハット会長兼CEO 米濱 和英



▲左より林田さん、吉田さん、越谷さん、末次さん



▲左より岡崎前本部長、安田さん、足立会長



▲左より景山さん、司さん、竹内さんの元同級生

相続に関するお家・不動産のお悩みを解決します
ロクモン
宅建士・遺品整理士
町野 秀隆
〒689-3532 鳥取県米子市上新印125番地
電話: 0859-21-5126 携帯: 080-4555-3886
E-mail: kaito.machino@gmail.com
<http://rokomon69.com>

ブランドが詰まった首都圏でも人気
「鳥取ブランドケーキ」
鳥取市片原二丁目一六
電話 0857-26-7001

古河電気工業株式会社
相談役 吉田 政雄
〒100-8322 東京都千代田区丸の内2-2-3
TEL 03-3286-3011
FAX 03-3286-3016
E-mail: masao.henry.yoshida@furukawaelectric.com

創業明治43年
株式会社 アビ鳥取堂
〒680-0845
鳥取市富安2丁目28番地
TEL 0857-26-1311
FAX 0857-24-4280
<http://www.abitoriko.jp/>
受付時間/8:30~18:00 年中無休(日・祝祭日もOK)

TOTTORI BANK 鳥取銀行
東京事務所
所長 伊藤 祐介
〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2-12
神田司町ビル 5 階
TEL 03-5295-8111 FAX 03-5295-8117
<http://www.tottoribank.co.jp/>

地方創生はなし「きのこの日」

菌茸研究所

(日本で唯一のきのこの民間の学術研究機関)

清水 裕美

皆さんは日本で唯一のきのこの民間の学術研究機関、一般財団法人日本きのこのセンター菌茸研究所が鳥取県にあることをご存知でしょうか。

のどかな田畑が広がる先には鳥取市街地が望め、遠く久松山まで見渡せる鳥取市米里地区。菌茸研究所はそんな自然豊かな地に鳥取県農業試験場とともに建っています。菌茸研究所は、昭和22年に設立された「全国椎茸普及会」を前身とする日本きのこのセンターの研究機関として昭和34年に誕生しました。

現在、所長・研究員9名(名誉研究員2名を含む)が在籍し、そのうち2名は女性研究員で(写真①)、きのこの健康機能性成分の分析調査研究に活躍しています。研究員は部屋の中で黙々と分析していると思われがちですが、菌茸研究所の研究員は山に入り作業をするのももちろん、(写真②)依頼があれば講師として全国の消費者の皆さんやきのこの生産現場に出向き講演も行っています。また、ブラジルのアマゾン研究所との研究協力協定の締結、アメリカのクラーク大学ヒベック教授率いる「しいたけゲノムプロジェクト」への参加、ブータン王国からのきのこの栽培研修の受け入れなど、国内外で活動しています。さらに、わずか1gの検体があれば99%的中率で乾シイタケの生産国を判別できる技術を確立しています。これは産地偽装の違法行為の抑止力となる技術といわれています。

きのこの王国の実現にむけて、原木しいたけでは、ここ数年マスコミなど多くのメディアでも取り上げられ、(鳥取茸王)へのとてまり)などのネーミングでブランド化されている「菌茸115号」をはじめ40の原木しいたけ用品種を開発・品種登録しています。さらにブランド力を強化した原木しいたけ品種の開発に取り組んでいます。また、世界で初めて無胞子エリンギ(写真③)の実用品種を開発しました。なぜ無胞子?と思われるが、生産者が胞子を吸い込むことによって発症するアレルギー性の呼吸器疾患(きのこの肺)の解消、汚染の防止、胞子の飛散による生態系への悪影響の予防など、胞子に起因する諸問題の解消に役立っています。さらに、リンガーハットへ向けた商品として、アラゲキクラゲの生産指導と拡大を図るなど、きのこの王国とつりの実現を目指した



「GARIKI」という雑誌(A4 48P)を手にして驚いた。何と誌面全体が正にまるごと地方創生ではないか。サブタイトルに「地域づくりは面白い、地域を学び、地域で遊ぶためのヒューマンネットワークマガジン」とある。全国に250人も支局員を要し、人と人の結びつきを大事にしている編集姿勢に感服した。発行人菅原敏一、発行所 合同会社かがり火、編集人内山節、TEL 03・5276・1051(代)(遠藤隆司)

新たなきのこの栽培実用化(県委託事業)にも取り組んでいます。以上、きのこの特化した地方創生、そして小さな鳥取県から日本全国、さらに世界に目を向けて発信している菌茸研究所をご紹介します。是非HPをご覧ください。

http://www.kinokonet.com (写真)一般財団法人日本きのこのセンター菌茸研究所

県人のお店

連続11年、楽天ネットショップの『ショップ・オブ・ザ・イヤー』を獲得!

「焼きたてコーヒー」の専門店『銀座澤井珈琲』

インターネット通信販売最大の楽天市場は、年に1回『ショップ・オブ・ザ・イヤー』を発表している。これは、楽天市場に属する全国の約4万5000店舗の中から、売上げや注文件数、お客様の人気投票によって、上位10店舗が選ばれる大イベントだ。『澤井珈琲』は11年連続でこのトップ10の店舗に選ばれているという快挙を遂げ、コーヒー豆販売専門店の売り上げでは全国第1位の座を確保している。

その「澤井珈琲」が2年前の10月、東京銀座にオープンした。地下鉄銀座線「銀座駅」から徒歩3分、銀座3丁目の交差点近くに位置する「銀座澤井珈琲」は、シックで落ち着いたたたずまいを見せている。1階のコーヒー豆販売コーナーには、世界中から厳選された20種以上のコーヒー豆が揃えられ、コーヒーが楽しめる。地下1階は、気軽にコーヒーが楽しめるカフェだ。茶色の煉瓦で縁取られたスペースに22席。シンプルでカジュアル、清潔感にあふれている。

常務取締役兼店長の澤井理憲さん(42歳)は、米子市出身。米子南商業高校卒業後、創業者の両親・幹雄さん(64歳)と由美子さん(61歳)と共に「澤井珈琲」の経営に携わってきた。現在「澤井珈琲」は、この銀座店の他に東京の浅草、鳥取、米子、境港、出雲、松江に販売店とカフェを8店舗展開。コーヒー豆を焙煎する工場を鳥取県内に3カ所構えている。

「36年前、地元鳥取県内に、美味しい本物のコーヒーを広めたい」という夢をもって脱サラをした両親は、自宅を事務所にしてコーヒー豆の小売業をはじめました。素人ですが、順風満帆とはいかず、焙煎したコーヒー豆を持って、細々と米子の町を歩き回って、日々「理憲さん」。



●米子の小さなコーヒー屋さんから出発した「澤井珈琲」。全国展開の企業に飛躍するまでの奮闘記「奇跡の澤井珈琲」(右下写真)が出版された。ぜひ一読あれ。

■東京都中央区銀座3-3-17/TEL03-6263-0380
■営業時間/11時~19時30分。年中無休。
(文)加藤雅子
写真/遠藤隆司



山陰の「いいもの」を書籍で
『白備線写真集』発売中 『山陰の神楽写真集』発売中 『大山絶景』4/13発売!
今井書店グループ 今井印刷株式会社
本社 〒683-0103 鳥取県米子市高島町8
東京事務所 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目46-5 ワールドカラービル3a
TEL 0859-28-5551(代) E-mail imaibp@imaibp.co.jp

銀座 澤井珈琲
株式会社 澤井珈琲
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目3-7
Email: info@sawaicoffee.co.jp
Tel: 03-6263-0380 Fax: 03-6263-0382

●こだわり抜いた素材と製法で、お客さまに大好評!
セブン-イレブン「金の食パン、こしあんぱん、カレーパン」
株式会社 武蔵野フーズ
代表取締役会長 安田 定明
〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-1-1 TEL 048-487-1111 FAX 048-487-6023